



子どもお仕事参観デー みらいプロジェクト

子どもたちに 夢と希望と志を！

2022

第13回

子どもの職場訪問

報告書

職場訪問を通じて「家族の絆」を育み、
子どもたちがより明るく、輝かしく、
大きな夢や未来を語ることのできる環境を作る。



ご挨拶

子どもたちに夢と希望と志を！

このような思いで始めた「子どもお仕事参観デー」活動も2022年度で13回を数えました。新型コロナウイルスの影響がまだ残っていた今年度は、この取り組みを実施するか否か、判断に迷う企業・団体様もありだったかと存じます。しかしながら、21年の35団体384名から、22年は50団体559名(うち佐賀県7団体57名)に参加団体および参加者が増えました。子どもたちの笑顔と学び・体験の機会が戻りつつあるのではないかと感じています。これも、“職場訪問を通じて「家族の絆」を育み、子どもたちがより明るく、輝かしく、大きな夢や未来を語ることのできる環境を作る”というみらいプロジェクトの信念に、ご理解・ご賛同を頂いた皆さまのおかげでございます。誠にありがとうございます。

本事業は、子どもたちが夢や仕事という「未来」に思いをはせるきっかけになり得るほか、親にあらためて尊敬や感謝の念を抱いて家族の絆が深まる、親子の触れ合いが職場のコミュニケーションを促進するなど、さまざまな効果をもたらすことが期待され、子ども・家庭・企業にとって、有意義であると確信しております。子どもたちの体験が、世界で活躍する人材を育てる一助となってほしいと願います。

そのような思いのなか、これまでの「FUKUOKAみらいプロジェクト」から、今年度より「みらいプロジェクト」と団体名を改め、“世界で活躍する人材を九州から”というミッションのもと、福岡に限らず、より多くの地域へとこの活動の輪を広げる取り組みに改めました。実際に佐賀県をはじめ、九州各県の事業所・拠点で「子どもお仕事参観デー」をご実施頂く団体様も出てきました。今後も、より広い範囲でこの取り組みにご賛同頂ける仲間を増やして参る所存です。

次年度は、いよいよコロナ禍も落ち着き、学校行事などを含めあらゆる物事が、平時へ戻っていくことが予想されます。きっと今年の夏休みには、マスクを外し、子どもたちの声や息遣い、そして満面の笑顔がより多く飛び交う「子どもお仕事参観デー」が実施できると大変期待しております。これまで我慢を強いられる機会の多かった子どもたちが、よりのびのびと学び、家族の絆を深められ、それを見守る私たち大人の顔もほころぶ時節となることを切に望みます。

最後になりますが、当取り組みにご協賛いただいた企業・団体の皆さま、そして、お子さんを含め、「子どもお仕事参観デー」にご参加くださった皆さまに御礼を申し上げ、この事業に対し、益々のご理解・ご協力・ご支援を心よりお願いいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

2023年3月

みらいプロジェクト実行委員会
会長 末松 大和

プロジェクトの目的

Mission

世界で活躍する人材を **九州** から!

Vision

私たちは、良い家庭、そしてよいコミュニティが、
子どもたちの未来を創っていくと信じています。

- ① 親への尊敬・感謝の念を抱き、家族の絆を深める。
- ② 家庭内・社内のコミュニケーションを促進する。
- ③ 親の仕事を理解し、社会・企業での役割を知る。
- ④ 子どもたちが自らの将来を考えるきっかけを創る。
- ⑤ 子育てに対する職場の理解と支援を喚起する。

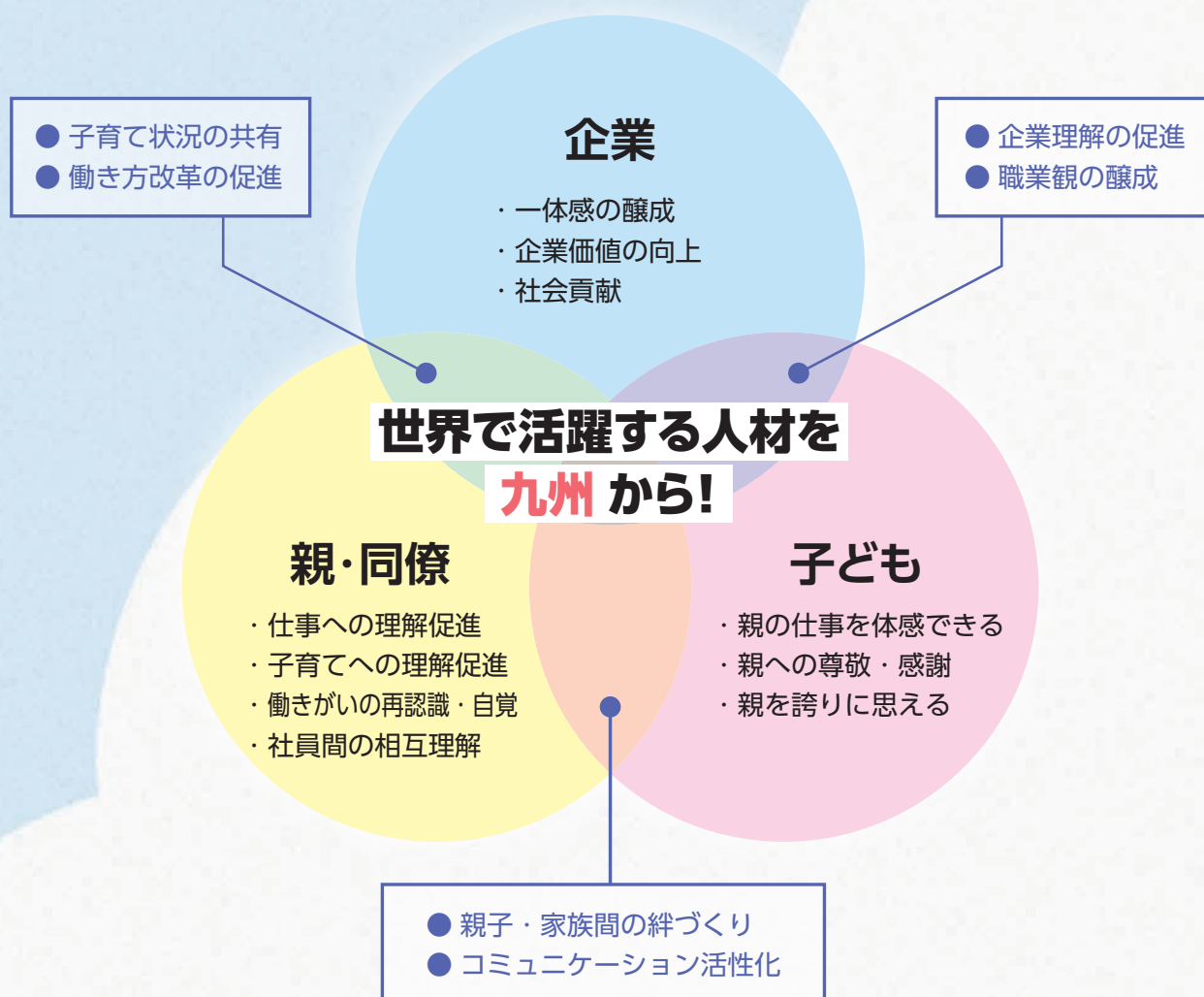
プロジェクト概要

子どもお仕事参観デーとは?

子どもたちが実際に親が働いている姿を見つめる教育プログラム。毎年、参加した子どもたちからは「仕事をすることがこんなに大変だとは思わなかった」、「働くお母さんはかっこよかった」、「大人になったら、お父さんのように人の役に立つ仕事をしたい」などの感想が多く寄せられています。



みらいプロジェクトの目指すカタチ



これまでの実績

2022年度参加企業数

50 社

のべ参加
企業総数※ **1,175** 社

2022年度参加者数

559 人

のべ参加者
総数※ **9,586** 人

※は2009～2022年度の総数









みらいプロジェクト

「子どもお仕事参観デー2022」発表会を開催しました。

開催日時 2022年11月23日 10:00~12:10 開催場所 F.Tビル B2 スカラエスパシオ

11月23日(水・祝) 勤労感謝の日に、「子どもお仕事参観デー 2022 発表会」を福岡市中央区の多目的ホール「スカラエスパシオ」で開催いたしました。

この会では、「子どもお仕事参観デー」に参加したお子さんたちを代表して、「作文コンテスト」で入賞した計24名の子どもたちが、お父さんやお母さんの働く姿を見て感じたこと、学んだことを綴った自分の文章を朗読しました。たくさんの人を前に、緊張した面持ちであったり、なかなか言葉が出なかったりする場面もありましたが、参加した子どもたちはみんな、自分の思いを一生懸命に、一つ一つ言葉にすることができていました。また、今年は発表会で初めて、動画でのご参加を実施されたお子さんもいらっしゃいました。

審査を経て、それぞれ各部門(幼児・小学生各学年・中学

生)の優秀賞、参加した全学年中の第3位、準グランプリ、グランプリが選ばれ、表彰を受けました。併せて、お仕事参観デー当日に撮影された写真のうち、最も良い瞬間を捉えた作品を表彰する「写真コンテスト」の応募結果も発表され、受賞団体の代表者に賞状などが贈られました。

また、今回より、「子どもお仕事参観デー」のお取組みを10か年ご実施いただきました企業・団体様を、感謝の意を込めて表彰させて頂きました。本年表彰された団体様は、当取り組みが始まった時期よりご参加頂いていた団体様が多く、改めて「子どもお仕事参観デー」への思いを振り返って頂いています。

ご参加いただきました皆様ならびに開催にご協力いただきました企業及び団体の皆様へ深く感謝を申し上げます。



子どもお仕事参観デー 2022 作文コンテスト結果一覧

賞	氏名	企業名
👑 グランプリ (小4)	中村 顕栄 <small>なかむら けんえい</small>	九州旅客鉄道株式会社
👑 準グランプリ (小5)	平安 真帆 <small>ひらやす まほ</small>	学校法人博多学園
👑 第3位 (小2)	松永 悠社 <small>まつなが はると</small>	九州大学
優秀賞 幼児の部	平尾 悠 <small>ひらお はるか</small>	株式会社福岡放送
優秀賞 小学1年生の部	川野 翔大 <small>かわの しょうた</small>	福岡県立少年自然の家「玄海の家」
優秀賞 小学2年生の部	松永 悠社 <small>まつなが はると</small>	九州大学
優秀賞 小学3年生の部	脇山 遥月 <small>わきやま ゆな</small>	株式会社辻薬店
優秀賞 小学4年生の部	中村 顕栄 <small>なかむら けんえい</small>	九州旅客鉄道株式会社
優秀賞 小学5年生の部	平安 真帆 <small>ひらやす まほ</small>	学校法人博多学園
優秀賞 小学6年生の部	大江 竜弘 <small>おおえ たつひろ</small>	九州旅客鉄道株式会社
優秀賞 中学生以上の部	河野 桜 <small>かわの さくら</small>	株式会社ルミカ
審査員特別賞 (小3)	平尾 彩 <small>ひらお あや</small>	株式会社福岡放送
入賞 幼児	内山明日奈 <small>うちやま あすな</small>	株式会社新出光
入賞 幼児	白石 理菜 <small>しらいし りな</small>	中村学園三陽中学校・高等学校
入賞 小1	戸川 忠駿 <small>とがわ ただとし</small>	九州大学
入賞 小1	屋田 織希 <small>やだ しき</small>	株式会社NTTドコモ 九州支社
入賞 小2	手島 唯翔 <small>てしま ゆいと</small>	福岡県立少年自然の家「玄海の家」
入賞 小2	池尻結里乃 <small>いけじり ゆりの</small>	株式会社ワイドレジャー
入賞 小3	中村 拓夢 <small>なかむら たくむ</small>	独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立夜須高原青少年自然の家
入賞 小4	手島 海翔 <small>てしま かいと</small>	福岡県立少年自然の家「玄海の家」
入賞 小4	渡邊 恵衣 <small>わたなべ けい</small>	Photo Studio Inoue株式会社
入賞 小5	安藤 叶恵 <small>あんどう かなえ</small>	九州旅客鉄道株式会社
入賞 小5	小林 紀斗 <small>こばやし かつと</small>	九州旅客鉄道株式会社
入賞 小6	本村 里沙 <small>もとむら りさ</small>	九州旅客鉄道株式会社
入賞 小6	水木 悠真 <small>みずき ゆうま</small>	学校法人博多学園
入賞 中2	篠原 海友 <small>しのはら かいと</small>	独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立夜須高原青少年自然の家
入賞 中2	山岸 実紅 <small>やまぎし みく</small>	福岡県

作文コンテスト結果



なかむら けんえい
グランプリ 中村 顕栄 さん [小学4年生] 九州旅客鉄道株式会社

い ま し た。	い て ト ン ト ン と い う 音 が な り ひ び い て	と 思 い ま し た。 足 場 も 手 さ 業 で 作 っ て	し な い と 電 車 が 安 全 に 走 れ な い ん だ な	い て こ わ が た で す。 で も そ の 工 事 を	初 め て の ほ っ た 足 場 が ち よ っ と ゆ れ て	う り す る 工 事 を し て い ま し た。 ほ く が	か か り ま し た。	て い る の で 、 仕 事 場 ま で 電 車 で 二 時 間	ぼ く の お 父 さ ん は た ん し ん ふ に ん し	会 長 や 社 長 と お 話 し が 出 来 ま し た。	自 分 だ け の 名 し を 作 っ て 行 っ た の で	し た。 ほ く は 、 特 技 や し り み を 書 い た	行 っ て 、 会 長 や 社 長 と 名 し 交 か ん し ま	ま し た。	ま し た。 ほ く は 夏 休 み に し よ く 場 体 験 に 行 き	題 名 初 め て の 体 験 4 年 名 前 中 村 け ん え い
-------------------	---	---	---	--	---	---	-----------------------------	---	--	--	--	---	---	--------------	--	--

は じ ま り し な ん だ な と 思 い ま し た。	今 回 の 体 験 で 、 お 父 さ ん は 、 か げ で	て い る ん だ な と 思 い ま し た	い る か ら 、 線 路 や 鉄 橋 が 守 ら れ づ け	実 感 し ま し た。 お 父 さ ん が が ん ば っ て	る の は 、 お 父 さ ん の お か げ な ん だ な と	し さ ん だ け ど 、 電 車 が 安 全 に 走 れ て い	で す。 電 車 を 動 か し て い る の は 運 て ん	を し て い る お 父 さ ん は か っ こ よ か っ た	く か が あ り ま し た。	ふ だ ん の お 父 さ ん と は ち が っ て 仕 事	を 走 っ て ま し た。 と て も 大 き く て は	す。 ば っ さ い よ う の 機 か い が 線 路 の 上	使 っ て 線 路 を 歩 き ま し た。 石 が い っ ぱ	い こ ろ が っ て い て 、 歩 き づ ら が っ た で	て し ま う 木 や 草 を ば っ さ い す る 工 事 を	二 つ 目 の ザ ン 場 で は 、 電 車 に あ た っ	題 名 初 め て の 体 験 4 年 名 前 中 村 け ん え い
--	--	--	--	---	---	---	---	---	---------------------------------------	--	--	---	---	---	---	--	--

作文コンテスト結果



ひらやす まほ
準グランプリ 平安 真帆 さん [小学5年生] 学校法人 博多学園

「家でいつも見ているお父さんじゃないみたい。教室で話をしていてお父さんを見た時にそう思いました。」
 私の父さんは、博多メデイカル専門学校
 の臨床工学士科で専任教員をしています。
 いつも家で授業に使うプリントを作ったり
 している姿は見ていました。実際に学校で
 働いている姿は見たことがなかった。子
 どもお仕事参観デーに参加することが決ま
 ったからとても楽しみにしていました。
 学校には、この日のために私の名刺が作っ
 てあり、副校長先生や事務長先生と名刺交換
 の練習をしました。大人になっただみたいでう
 れしかったです。
 朝礼では、大きな声で自己紹介と、あいさ
 つをしようと決めていたので緊張しましたが
 がんばって大きな声を出しました。
 お仕事参観の日は午後からオープンキャン
 パスがあり、朝礼の後に教室の準備に行きま
 した。お父さんがイスを大変そうに運んでい

題名 働くお父さん
 五年 名前 平安真帆

たので、私が手伝うと「ありがとう。すごく
 助かったよ」と言ってくれたので、役に立
 ったととてもうれしかったです。
 オープンキャンパスの説明に使うスライド
 や、機械の確認、お手伝いに来ていた在校生
 (SA)さん達に指示を出したりと、テキパキ動く
 お父さんを見てか、「いいな」と思いました。
 お父さんは、みんなに臨床工学士は、や
 りがいのある良い仕事だということを知って
 ほしいそうです。また、先生と学生との距離
 が遠くならないよう、楽しく勉強できるよう
 に、いつも笑顔で接することを心かけている
 そうです。
 私の夢は、病気や不安をかかえている患者
 さんを少しでも元気づけられるような看護師
 になることです。そのため、お父さんみた
 いに笑顔で人にやさしくできるように心かけ
 たいです。
 今回の職場体験に参加して「働くお父さん
 の姿から沢山のことを学べて良かったです。」

題名 「働くお父さん」
 五年 名前 平安真帆

作文コンテスト結果



まつなが はると
第3位 松永 悠杜さん [小学2年生] 九州大学

西親のしゅくば
 松永はると
 ぼくのお父さんとお母さんの
 しゅくばは、無し。う、大学で
 ぼくは、お仕ごとさんかんデー
 で、おしゅくば、う、大学を
 た。おしゅくば、おしゅくば
 こまが、おしゅくば、おしゅくば
 ち、おしゅくば、おしゅくば
 フ、おしゅくば、おしゅくば
 う、おしゅくば、おしゅくば
 四百二十五分あると聞きあま
 りにも大きくて、おしゅくば
 悪いました。おしゅくば
 次、おしゅくば、おしゅくば
 ツ、おしゅくば、おしゅくば
 の、おしゅくば、おしゅくば
 十、おしゅくば、おしゅくば

リしました。
 次、おしゅくば、おしゅくば
 そう、おしゅくば、おしゅくば
 ぐ、おしゅくば、おしゅくば
 で、おしゅくば、おしゅくば
 午後、おしゅくば、おしゅくば
 ば、おしゅくば、おしゅくば
 くの、おしゅくば、おしゅくば
 しました。おしゅくば、おしゅくば
 させて、おしゅくば、おしゅくば
 した、おしゅくば、おしゅくば
 たり、おしゅくば、おしゅくば
 した、おしゅくば、おしゅくば
 た、おしゅくば、おしゅくば
 次、おしゅくば、おしゅくば
 イ、おしゅくば、おしゅくば
 そ、おしゅくば、おしゅくば
 台、おしゅくば、おしゅくば
 ンを、おしゅくば、おしゅくば

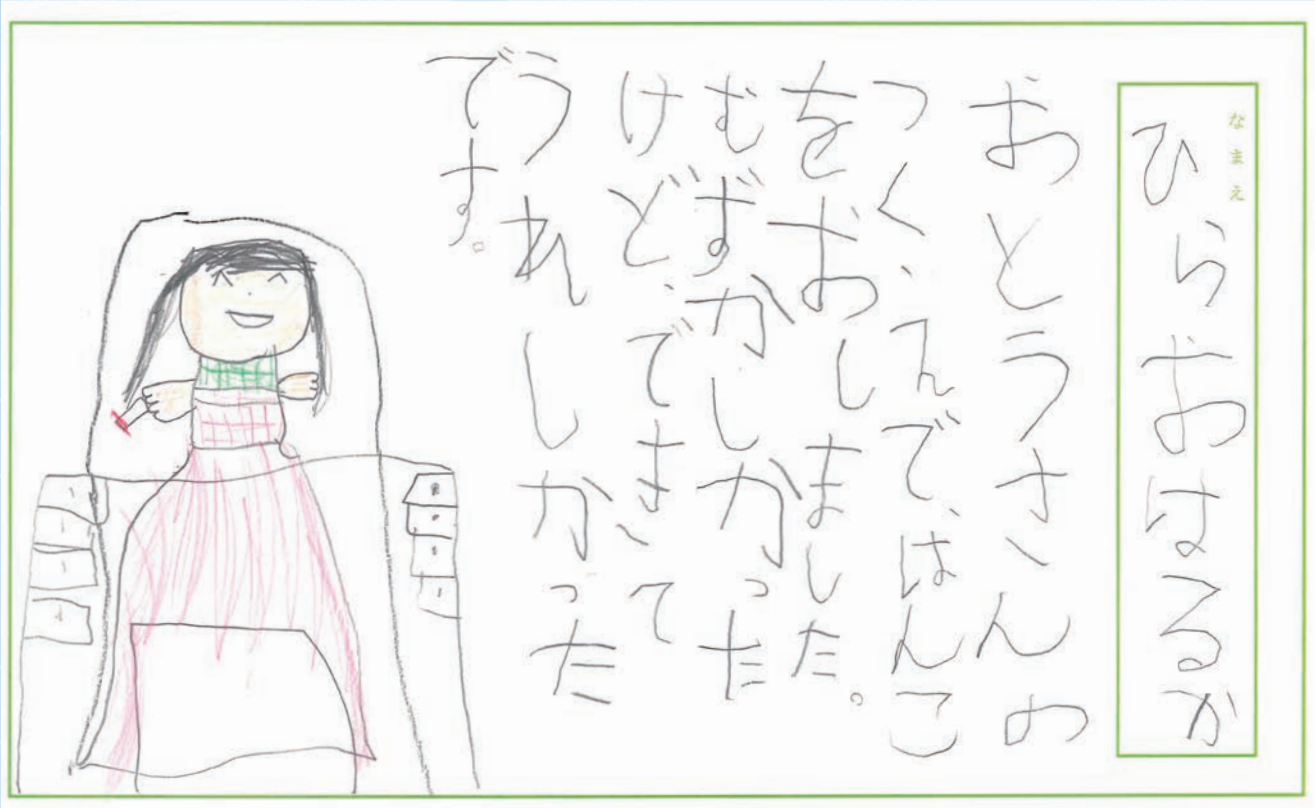
う、おしゅくば、おしゅくば
 今、おしゅくば、おしゅくば
 人が、おしゅくば、おしゅくば
 て、おしゅくば、おしゅくば
 た、おしゅくば、おしゅくば
 ぼ、おしゅくば、おしゅくば
 ぼ、おしゅくば、おしゅくば
 ても、おしゅくば、おしゅくば
 く、おしゅくば、おしゅくば
 い、おしゅくば、おしゅくば
 だけ、おしゅくば、おしゅくば
 ま、おしゅくば、おしゅくば
 かん、おしゅくば、おしゅくば
 ま、おしゅくば、おしゅくば
 しました、おしゅくば、おしゅくば
 さん、おしゅくば、おしゅくば
 た、おしゅくば、おしゅくば

作文コンテスト結果

優秀賞

幼児の部

ひらお **平尾** はるか **悠**さん 株式会社福岡放送



作文コンテスト結果

優秀賞

小学1年生の部

かわの しょうた
川野 翔大さん 福岡県立少年自然の家「玄海の家」

しか	と	ん	を	あ	わ	ん	た	て	ド	を	ま	す	た	を	ぼ	お	お	お	お	お
か	う	が	あ	ん	で	か	。	き	キ	し	ず	。	で	お	く	し	し	し	し	し
っ	し	っ	し	な	す	い	。	て	し	ま	さ	た	す	て	は	は	は	は	は	
た	と	っ	え	い	。	の	。	、	た	し	い	の	た	。	は	は	は	は	は	
で	り	っ	たり	や	ぼ	い	。	大	け	た	し	し	。	。	。	。	。	。	。	
す	。	だ	し	ふ	く	え	。	き	ど	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	
。	。	っ	ま	と	も	い	。	い	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	
	。	。	。	ん	お	。	。	え	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	
	。	。	。	の	き	。	。	で	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	
	。	。	。	た	。	。	。	い	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	
	。	。	。	た	。	。	。	え	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	
	。	。	。	み	。	。	。	ま	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	
	。	。	。	か	。	。	。	し	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	
	。	。	。	た	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	
	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	
	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	
	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	
	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	
	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	

おしごとたいけん
 川野翔大

おしごとたいけん
 川野翔大

作文コンテスト結果

優秀賞

小学3年生の部

わきやま ゆな

脇山 遥月 さん 株式会社薬店

お仕事たいけん
 3 脇山 ゆな
 8月3日に、お母さんのお仕事たいけんをしました。あこがれのはくいをきれてうれしかったです。
 まずはじめに、やさしくのそのうしとしようどくをしました。お母さんたちは朝早くからこんなたいへんなことをしているんだなと思いました。かんにゃさんがこられたらまず、あいさつをして、つきに、おくすりノートとしようせんをもらいます。しようせんを入力してもらって、調さい室にもっていきまます。
 かんにゃさんが帰られる時は、おあいしに、といます。
 さいしよは、はずかしくていえなかつたけれど、とんとん声が大きくなりました。おあいしに、をいえるようになり、いろいろなびょうきをもった

お仕事たいけん
 3 脇山 遥月
 かんにゃさんがこられました。朝からたくさんのかんにゃさんがこられてたいへんでした。
 かんにゃさんにやさしく話をしたり、くすりをだしたりするやくざいしの先生やお母さんたちは、とてもすごいと思いました。わたしも大人になったらどんな仕事をするのかはわからないけれど、お母さんたちのように、いっしょうけんめいはたらきたいと思いました。

作文コンテスト結果

優秀賞

小学6年生の部

おおえ たつひろ
大江 竜弘さん

九州旅客鉄道株式会社

別の会議に行っ	てしまいました。他にも会社	また無理です。	ぼくは自分のことではせーぱいで、気配りは	よくれました。ぼくはとても助かりました。	の、ぼくのノートのメモを書くのを手伝っ	への気配りもできていました。仕事で忙しい	えれから、お父さんは一緒に働いている人	でできていました。ぼくは気持ちのやり替えが	苦手であまりできていません。	それから、お父さんは一緒に働いている人	は、会社ではとても気持ちのやり替えが	できていました。ぼくは気持ちのやり替えが	家で会社より、だらしとしているお父さ	だけではないということに気づきました。	て、今回の体験で仕事というのは家族のため	生けん命にずと働いているからです。そし	みで、文句も言わずに家族のために会社で一	になりないうぐらいの長い時間、土日だけの休	た。お父さんなら、学校や習い事よりも比べもの	て、お父さんはすごく立派だなあと思いまし	ぼくは、子どもお仕事参観デーを通して
---------	---------------	---------	----------------------	----------------------	---------------------	----------------------	---------------------	-----------------------	----------------	---------------------	--------------------	----------------------	--------------------	---------------------	----------------------	---------------------	----------------------	-----------------------	------------------------	----------------------	--------------------

題名
働くということ

6 年 名前
大江 竜弘

お父さん	をこえていきたいです。	自分の好きなことで幸せにできる仕事をして	探求。ぼくはこの体験を活かして、他の人を	とが仕事なのだと分かりました。	して、今回改めてお父さんの仕事を見て、周	りの人を幸せにして、世の中のために働くこ	どの人か他の人のためと答えていました。そ	した。仕事をどう思っているか聞くとほとん	活動をして、色々な人にインタビューをし	し、五年生のころ、職業インタビューという	お金をかせぐことだと思っていました。しか	頭も体力も必要だと思いました。	て途中でねむくなってしまうました。仕事は	たしく動き回っていました。ぼくは足が疲れ	以外の店ぼの視察に行っていました。とても	働くということ	6 年 名前 大江 竜弘
------	-------------	----------------------	----------------------	-----------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	---------------------	----------------------	----------------------	-----------------	----------------------	----------------------	----------------------	---------	-----------------

作文コンテスト結果

優秀賞

中学生以上の部

かわの さくら
河野 桜さん 株式会社ルミカ

お母さんの仕事を体験して
 中1 河野 桜

私は、お母さんが働いている「株式会社ルミカ」の職場体験に、参加しました。私はお母さんのお仕事についてあまり知らなかった。たのこの機会をととも楽しみにしていました。私はお母さんのお仕事を体験しました。お母さんの仕事は社内のシステム管理という仕事でパソコンなどに関する仕事なので私は最初に「株式会社ルミカ」のウェブサイトの沿革ページを作成しました。作成するときにお母さんがやり方を見せてくれて、色々なことを工夫しているということが分かりました。次にしたお仕事は機種変更といってシステム管理が得意な作業をしてみました。そのときに教えてもらったことは機種変更の仕方とパソコンでの文のコピーの仕方、その文のペーストの仕方まで教えてもらいとても勉強になりました。他にも参加した弟たちと一緒にiPwO（アイパオ）という簡単に組み立てられる多目的ドームハウスで宝探しや野菜の収穫をしたりエアゾールの開発について

中1 河野 桜

て聞いたりしてみんなが体験したのでも楽しかったです。その後は会社の人たちや参加した子たちと一緒に流しそうめんをしてとても楽しかったです。

私はこの体験をとおして仕事の大変さについて分かりました。みんな同じことをしているのではなく一人一人が違うことをして協力しているから会社がなりたっているのだなと思いました。これからもお母さんもお父さんにも仕事をがんばってもらって家族みんながSSJに行きたいです。

作文コンテスト結果

審査員特別賞

ひらお あや
平尾 彩さん [小学3年生] 株式会社福岡放送

アナウンサーってすごい
 二 平尾彩

FB Sへお仕事見学に行きました。
 めいしの交かんやしよるいにはんこを
 おす仕事をしました。一番おもしろ
 そうだと思っただことは、アナウンサー
 のお仕事です。
 見学をする前は、テレビの中でニュ
 ースを読むのが仕事だと思っ
 ました。しかし、本番の前には、リハーサ
 ルがあっけてげんこうチエツクをし
 たり、読む練習をしていました。それを見
 わたしは、すぐがんばっ
 てるんだなあと思いました。そして、アナウン
 サーがかつこいいのは、本番前にじゅ
 んびをしてるからだと思
 いました。もう一つ、心にのこ
 ったことがあります。カメラの
 ことを教えてもらって、
 点カメラの黒いけおりが
 いた時、カメラを調べてみると、

アナウンサーってすごい
 三 平尾彩

デパートのおく上が火事になっ
 ていることが分かりました。そして、すぐあ
 のニュースでその火事のことをアナウ
 ンサーがたええいしました。わたしは、
 火事のことですぐにニュースになっ
 いたので、すごいなあと思
 いました。わたしは、学校の先生にな
 りたいと思っ
 ています。学校が、アナウンサーの仕
 事もかつこよくて楽しそうだ
 ったので、やってみたいと思
 いました。お仕事見学に行くこと
 ができて、テレビでは見
 れない仕事分かり、楽し
 かったです。いろいろなことを
 おしえてくださっ
 てありがとうございます。

写真コンテスト結果

社員なりきり賞



株式会社ドラッグストアモリ 様

審査員特別賞



株式会社ピエトロ 様

親子の絆賞



株式会社北洋建設 様

参加企業と団体一覧 (敬称略)

(50音順)

企業(団体)名	企業(団体)名	企業(団体)名
株式会社愛しとーと	大洋シナジー株式会社	福岡県
麻生商事株式会社	株式会社辻薬店	福岡県立少年自然の家「玄海の家」
株式会社岩田屋三越	株式会社ティーアンドイー	学校法人福岡工業大学
英進館株式会社	株式会社テレビ西日本	福岡トヨタ自動車株式会社
株式会社NTTドコモ九州支社	株式会社ドコモビジネスソリューションズ	株式会社福岡放送
NTTコミュニケーションズ株式会社	株式会社ドコモCS九州	株式会社福住
大高建設株式会社	株式会社ドラッグストアモリ	株式会社北洋建設
株式会社O・B・U Company	中村学園三陽中学校・高等学校	ホンダカーズ佐賀株式会社
九州朝日放送株式会社	中村学園女子中学校・高等学校	松尾建設株式会社
国立大学法人九州大学	中村学園大学短期大学部	株式会社ミカサ
九州旅客鉄道株式会社	中村建設株式会社	株式会社三森屋
独立行政法人国立青少年教育振興機構国立夜須高原青少年自然の家	学校法人中村産業学園 九州産業大学	明治安田生命保険相互会社
株式会社サニックス	学校法人中村専修学園	株式会社ルミカ
JR九州エンジニアリング株式会社	株式会社西日本新聞社	株式会社ワイドレジャー
JR九州バス株式会社	学校法人博多学園	株式会社脇山製作所
株式会社JR博多シティ	株式会社ピエトロ	学校法人渡邊学園 専門学校コンピュータ教育学院
株式会社新出光	Photo Studio Inoue株式会社	

企業・団体様



- 社内が温かな雰囲気になるので良い。その後の親子コミュニケーションにも好影響があるようだ。
- 社員の間でのコミュニケーションが増えた。仕事だけでなく、子どもが来たことで社員たちの普段見えない人柄もわかった。
- お仕事参観デーをオンラインで実施。試行錯誤で不安もあったが、実際にやってみると今までとは違った形でメリットも見えてきて、これはこれでアリだと感じた。
- 父親がどんな職場で働いているのか？ またどのような仕事をしているのかを間近で見て、帰った後に親子で色々な話ができてよかったという感想が多かった。普段は、子どものことを親が聞くことがほとんどで、親が自分の話をする機会がなく、一方通行だった会話がその日はお互いに話せてよかったとのことだった。
- 子どもを持つ社員だけではなく、独身スタッフの子育てに対する理解に一役買っている。
- 一定の時間は親と距離を取らせて、別の社員が「親である社員」の活躍ぶりや存在感を子どもに話すようにしている。他人から親の話を聞く子どもにとって、大きな刺激となっているようだ。結果として、親への尊敬の念も生まれている。
- 普段から大勢の高校生と接する環境だが、年代の異なる中学生以下の子どもを受け入れることで全く違う新鮮な気持ちを感じた。仕事を通じて母親を頼もしく見ている姿、仕事内容の説明を受けて体験し、真剣な眼差しで一生懸命学んでいる姿を見ると心が温まった。「自分の子どもも体験させたい」という声も多く聞かれた。

親御様



- 親がどんな所で働いているかを見て安心感を持つと思う。
- 親がどのような仕事をしているか、言葉で伝えるよりも実際に目で見て感じることで理解してもらえた。家と違う姿が見せられた。
- 今回は長男だったが、機会があれば次男も訪問させたい。
- 子どもに普段見せる事のできない姿を見てもらえる。仕事の中身を少しでも分かってもらえる。社会を少しでも感じてもらえる。
- 子どもに親の仕事を知ってもらい、家族の絆を深めることができたと思う。
- 子どもが仕事することをイメージしやすくなるため、非常に良い機会だと思う。
- 子どもを打ち合わせに同席させた際に、業務についていろいろなアイデアを出してくれて、成長を感じた。

お子様



- いろんなものがあったり、ドローンの操作をしたりして楽しかった。
- 普段できない体験ができて楽しかった。
- とてもわくわくした。
- お父さんの仕事について知ることができて良かった。とても分かりやすく教えてくれた。一緒に過ごせたり、仕事に触れたりしてとても楽しかった。
- 職場のみなさんが優しくとても丁寧に教えてもらったから楽しかった。

みらいプロジェクト 2022 協賛・協力企業(団体)一覧 (敬称略)

(50音順)

プレミアム	株式会社北九州銀行 福岡支店	西日本鉄道株式会社
福岡トヨタ自動車株式会社	九州朝日放送株式会社	NTT 西日本 九州支店
ゴールド	一般財団法人九州電気保安協会 福岡支部	株式会社西日本ビル代行
九州旅客鉄道株式会社	九州電力株式会社	西日本プラント工業株式会社
末松印刷株式会社	株式会社 Qtnet	一般社団法人日本自動車連盟 福岡支部
株式会社千鳥饅頭総本舗	株式会社九電工ホーム	日本電話工業株式会社
福岡ロジテム株式会社	株式会社ブランドビジョン	株式会社日本旅行
株式会社北洋建設	株式会社広栄舎	株式会社ハローライフ
株式会社やずや	神戸電池株式会社	株式会社ファビルス
シルバー	株式会社佐賀銀行	PhotoStudiolnoue 株式会社
株式会社九電工	三光消防設備有限会社	福岡印刷株式会社
学校法人麻生塾	株式会社 CS テクノス	株式会社福岡銀行
上村建設株式会社	JR九州エージェンシー株式会社	福岡県産業廃棄物処理事業協同組合
英進館株式会社	JR九州コンサルタンツ株式会社	一般社団法人福岡県中小企業経営者協会連合会
西部ガスホールディングス株式会社	JR九州ビルマネジメント株式会社	学校法人福岡工業大学
株式会社サニックス	株式会社 JR 博多シティ	福岡地所株式会社
新日本製薬株式会社	株式会社 JTB 福岡支店	福岡商工会議所
学校法人中村学園	清水建設株式会社 九州支店	福岡スリーボンド株式会社
学校法人博多学園	学校法人純真学園	株式会社福岡放送
ハッピーハウス株式会社	株式会社昭和イーティング	株式会社福住
福岡県信用保証協会	昭和グループマーケティング株式会社	株式会社福昭ビル・サービス
株式会社ミカサ	株式会社新出光	有限会社福永設計事務所
ブロンズ	株式会社伸和	株式会社ふくや
キューサイ株式会社	総合警備保障株式会社	ブリヂストンタイヤソリューションジャパン株式会社
株式会社西日本新聞社	株式会社大中央	ホンダカーズ佐賀株式会社
株式会社ルミカ	太宰府天満宮	増田石油株式会社
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	ダンロップタイヤ九州株式会社	松尾建設株式会社
株式会社愛しとと	中央自動車工業株式会社 福岡支社	株式会社松本電機商会
株式会社アサヒ緑健	中央地所株式会社	三井住友海上火災保険株式会社
麻生商事株式会社	株式会社ティアーンドイー	株式会社三森屋
アビスパ福岡株式会社	株式会社 TVQ 九州放送	宗政酒造株式会社
株式会社岩田屋三越	株式会社テノ・ホールディングス	明治安田生命保険相互会社
株式会社上杉スプリング商会	株式会社テレビ西日本	株式会社やまやコミュニケーションズ
HK サービス株式会社	株式会社電通九州	学校法人友幸学園 専門学校九州テクノカレッジ
株式会社 NTT ドコモ 九州支社	東京海上日動火災保険株式会社	株式会社ヨコハマタイヤジャパン
エントリーサービスプロモーション株式会社	トヨタモビリティパーツ株式会社 九州北部統括支社	吉水税理士法人
大高建設株式会社	株式会社トヨタユーゼック TAA九州会場	株式会社よしむら自動車ガラス
株式会社オーパーツ	トヨタリック九州株式会社	株式会社レイメイ藤井
学校法人大村文化学園	行政書士法人ながわ	株式会社 Regalo
鹿島建設株式会社	中村建設株式会社	株式会社ワイドレジャー
川浪電気工事株式会社	学校法人中村専修学園	学校法人渡邊学園 専門学校コンピュータ教育学院グループ
河野産業株式会社	株式会社南陽	協力企業
株式会社カンサイホールディングス	西日本オートリサイクル株式会社	福岡おもちゃ美術館
株式会社北川緑地建設	株式会社西日本シティ銀行	株式会社フラウ



ひろき



あ
い
が
こ
う

は
な
が
か
5



あ
い
の
こ
ら
に
あ
い
さ
い



ほ
め
し
う
た



お
お
つ
か
ほ
ろ
の



あ
い
が
こ
ら
に
あ
い
さ
い
し
ま
し
た

ま
い
せ
え
ま



あ
い
が
こ
ら
に
あ
い
さ
い
し
ま
し
た

あ
い
が
こ
ら
に
あ
い
さ
い
し
ま
し
た

ま
い
せ
え
ま



こ
の
こ
ら
の
お
し
や
ま
の
こ
ら
の
お
し
や
ま

あ
い
が
こ
ら
に
あ
い
さ
い
し
ま
し
た

ま
い
せ
え
ま



ま
つ
も
と
り
く



あ
い
が
こ
ら
に
あ
い
さ
い
し
ま
し
た

ま
い
せ
え
ま

みらいプロジェクト 2022 実行委員会名簿 (敬称略)

	機 関 団 体 名	役 職 名	名 前
会 長	末松印刷 株式会社	代表取締役社長	末松 大和
副 会 長	学校法人 中村学園	理事長	中村 紘右
副 会 長	祥文社印刷 株式会社	代表取締役社長	古賀 達也
特別顧問	九州旅客鉄道 株式会社	特別顧問	石原 進
特別顧問	福岡トヨタ自動車 株式会社	代表取締役社長	金子 直幹
実行委員	株式会社 NTTドコモ 九州支社	企画総務部長	前田 正人
実行委員	九州電力 株式会社	地域共生本部 総務部長	辻 慎一
実行委員	九州旅客鉄道 株式会社	上席執行役員 総務部長	山根 久資
実行委員	株式会社 九電工	理事 総務部長	入濱 剛
実行委員	西部ガスホールディングス 株式会社	総務部長	末次 隆
実行委員	青年協議会「立志会」	相談役	河野 晴信
実行委員	中央地所 株式会社	代表取締役社長	戸嶋 太一
実行委員	株式会社 ティーアンドイー	代表取締役社長	岡部 知寛
実行委員	株式会社 西日本シティ銀行	地域振興本部 地域情報グループ 情報営業チーム 主任調査役	井上 和明
実行委員	株式会社 西日本新聞社	取締役 メディア戦略本部長	大久保昭彦
実行委員	西日本鉄道 株式会社	人事部長	吉田 哲治
実行委員	学校法人 博多学園	理事長	八尋 太郎
実行委員	株式会社 福岡銀行	地域共創部 部長	山内 徳一
実行委員	福岡県人づくり・県民生活部 私学振興・青少年育成局 青少年育成課	企画監	野中 恵子
実行委員	福岡県教育庁 教育振興部 社会教育課	主幹社会教育主事	佐藤 栄一
実行委員	福岡県商工会連合会	事務局長	熊谷 晃
実行委員	福岡県信用保証協会	総務企画部長	馬場 勝久
実行委員	一般社団法人 福岡県専修学校各種学校協会	副会長	西田 宗弘
実行委員	福岡市経済観光文化局	総務・中小企業部長	井上 孝和
実行委員	福岡商工会議所	事務局長	猪野 猛
実行委員	一般社団法人 福岡青年会議所	理事長	西嶋 聖
実行委員	福岡トヨタ自動車 株式会社	総務部 次長	大楠 潤
実行委員	株式会社 フラウ	代表取締役社長	濱砂 圭子
事務局	福岡トヨタ自動車 株式会社	執行役員 総務部長	木下 耕一
事務局	福岡トヨタ自動車 株式会社	総務部広報担当 係長	野中 美里
事務局	福岡トヨタ自動車 株式会社	総務部	橋本 優里